

第2回学校保健委員会 ご挨拶

立春も過ぎ、暦の上では春を迎えましたが、年明けから新型コロナウイルスの感染者が急増する事態となっています。第2回学校保健委員会も、第1回に続いて書面で開催することとなり、大変残念に思っております。

本校でも、社会での感染者の急増に伴い、1月末から複数患者が出ています。ただ、学校全体の休業に至るほどには感染が拡大しておらず、学級閉鎖程度の規模までとどまっています。

感染者急増の前、2学期後半は感染状況も落ち着いていましたので、修学旅行を日帰りではありましたが小学部、中学部、高等部ともに実施したり、校外活動を行ったり、地域の方と一緒に芋ほりを行ったりもできました。また、保護者の皆様には、学習発表会「银杏祭」を動画視聴という形態ではありましたが、来校いただいて子どもたちのがんばっている様子、成長している姿などをご覧いただくこともできました。以前とは異なる形や縮小などをしての行事の実施ではありましたが、貴重な機会となりました。

残念ながら、現段階では感染拡大が収まる見通しが見えない状況が続いている中、支援学校の教職員を対象とした3回目の追加ワクチンの職域集団接種の機会が3月中旬から下旬にかけて大阪府教育庁により設けられることになりました。感染者の急増に鑑み、予定より前倒ししての実施となるとのことでした。

3学期は卒業式もひかえております。今後も、保護者の皆様のご理解・ご協力や、学校医の先生方のご助言もいただき、私たちは感染リスク、重症化リスクの高い児童生徒の指導や支援をしていることを十分に意識して、これまで以上に細心の注意を払って感染症対策をし、児童生徒の体調に留意してまいります。

さて、今回の学校保健委員会では、学校保健安全計画の総括や、保健室より学校全体の児童生徒の体調や様子の報告、食物アレルギーへの対応について取り上げております。特に食物アレルギーについては命に関わることであり、学校として十分に注意し慎重に対応していかなければなりません。委員の皆様のご様々なお立場や観点から、ご意見をいただければ幸いです。

今後も感染症対策だけに限らず、より一層、学校児童生徒が安全・安心に学校生活を送るために、また充実した教育活動を行っていくために、今回の保健委員会が意義あるものとなりますよう、どうぞよろしく願いいたします。

校長 大峠 貴弘
准校長 天野 ちさと